

飛躍

HIYAKU

第257号



「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

「東海大学附属高等学校特別奨励入学制度」

「東海大学附属高等学校特別推薦制度」による

55名の合格内定者、おめでとう



55名の栄えある笑顔

「東海大学附属高等学校特別奨励入学・特別推薦制度」による合格内定者55名

「東海大学附属高等学校特別奨励入学制度」で54名、また「東海大学附属高等学校特別推薦制度」で1名、合計55名の3年生が6月のうちに東海大学への進学が内定しました。内定者には大学進学後、25万円の奨学金が授与されることになっています。まさに二重の喜びを得ることになります。

東海大学への入学が、この時期に内定するのは、東海大学の附属高校の大きな特色の一つです。また、一部の例外はありますが、自分が希望するどの学科へも進学することができます。この制度への出願条件は、①東海大学の建学の精神、および教育目標を理解していること。②人物が優秀であること。③大学入学後も諸活動に惜しまず努力する

意志のあること。④学園基礎学力定着度試験での成績が上位であること。⑤学業成績が優秀であること。以上の5点です。さらに、5月中に作成する進学希望先の学科を選んだ「志望理由書」などの資料をもとに、総合的に判断し、6月に内定者が決定します。但し、「医学部・看護系学科・芸術系学科・航空操縦学専攻」と、高校在学中のスポーツ実績を必要とする「体育学部の一部の学科」は適性審査を必要としますので決定は9月となります。

1・2年生の皆さんも是非、この制度を利用して、自分が第一希望とする学部・学科へ進学して、栄冠をかちとってほしいと思います。

「東海大学特別奨励入学制度・特別推薦制度」 55名の合格内定者、おめでとう

6月25日、校長室にて55名の合格内定者に対し、片桐知己治副校長より合格内定通知が授与されました。3年間の努力が実を結び、希望進路への進学が内定した生徒たちは期待に胸を膨らませ、皆で喜びを分かち合っていました。

東海大学特別奨励入学制度

(学部・学科順)

氏名	クラス	進学先(内定)	出身中学校
村越 仁美	2組	文学部英語文化コミュニケーション学科	葛飾区立上平井中学校
石井 萌	4組	文学部英語文化コミュニケーション学科	北区立豊島中学校
北山恵美理	8組	文学部英語文化コミュニケーション学科	墨田区立墨田中学校
伊平 晃司	7組	文学部広報メディア学科	品川区立日野中学校
久保美友紀	2組	文学部心理・社会学科	大田区立大森第八中学校
徳留 由佳	2組	文学部心理・社会学科	足立区立第二中学校
加賀谷 徹	6組	文学部心理・社会学科	市川市立大洲中学校
関本 公紀	8組	文学部心理・社会学科	中央区立日本橋中学校
菊池 由	1組	文学部日本文学科	世田谷区立駒留中学校
遠藤 剛史	6組	教養学部国際学科	板橋区立赤塚第三中学校
島崎 聡之	1組	教養学部人間環境学科社会環境課程	中野区立第三中学校
村上 佳彦	1組	教養学部人間環境学科社会環境課程	横浜市立奈良中学校
岩堀 加奈	10組	教養学部人間環境学科自然環境課程	練馬区立開進第一中学校
櫻井 友紀	4組	政治経済学部経営学科	中野区立第五中学校
高野 幹生	6組	政治経済学部経営学科	川崎市立富士見中学校
松崎 英人	6組	政治経済学部経営学科	大田区立矢口中学校
吉田 亮	4組	政治経済学部経済学科	北区立岩淵中学校
高松 雄大	6組	政治経済学部政治学科	足立区立第五中学校
平澤 美穂	2組	体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科	江戸川区立小岩第一中学校
岩下 博哉	6組	体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科	渋谷区立原宿外苑中学校
山田 和弘	6組	体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科	墨田区立錦糸中学校
塩谷 昂平	4組	体育学部競技スポーツ学科	品川区立鈴ヶ森中学校
北 雄太	6組	体育学部競技スポーツ学科	大田区立大森第六中学校
相田かおる	5組	体育学部生涯スポーツ学科	足立区立第九中学校
田中みず穂	8組	体育学部生涯スポーツ学科	名古屋市立沢上中学校
今井亜希子	9組	体育学部生涯スポーツ学科	江東区立深川第五中学校
橋本 彩	8組	体育学部体育学科	世田谷区立八幡中学校
宮田 栞	8組	体育学部体育学科	北区立岩淵中学校
簾田 早織	6組	理学部情報数理学科	川崎市立中原中学校
岩村 豪	7組	理学部情報数理学科	足立区立上沼田中学校
久山 貢一	7組	理学部情報数理学科	中央区立日本橋中学校
福井 真仁	7組	理学部情報数理学科	練馬区立開進第四中学校
柳下 大亮	8組	理学部情報数理学科	足立区立千寿青葉中学校
矢野 達也	10組	理学部情報数理学科	川崎市立川中島中学校
浅尾 公美	8組	理学部数学科	品川区立平塚中学校
高橋 愛	9組	情報通信学部経営システム工学科	北区立紅葉中学校
白子 匠	5組	情報通信学部情報メディア学科	川崎市立井田中学校
本間 俊也	6組	情報通信学部組込みソフトウェア工学科	大田区立六郷中学校
矢部 祐也	7組	情報通信学部組込みソフトウェア工学科	練馬区立大泉中学校
五十嵐公美	10組	情報通信学部組込みソフトウェア工学科	川崎市立東橋中学校

(学部・学科順)

氏名	クラス	進学先(内定)	出身中学校
矢澤 良政	9組	情報理工学部コンピュータ応用工学科	横浜市立藤の木中学校
金田 俊幸	5組	情報理工学部情報科学科	横浜市立中川西中学校
加賀 友典	5組	工学部応用化学科	足立区立第七中学校
渡邊光太郎	7組	工学部建築学科	川崎市立京町中学校
北村 昌也	10組	工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻	江東区立大島中学校
渡嘉敷将平	10組	工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻	川崎市立川中島中学校
三宅 亜依	6組	工学部生命化学科	川崎市立京町中学校
白倉 拓也	6組	工学部生命化学科	品川区立伊藤中学校
吉田 信吾	9組	工学部土木工学科	川崎市立南加瀬中学校
則竹わかば	10組	海洋学部海洋生物学科	大田区立大森第四中学校
河原 香織	10組	開発工学部医用生体工学科	板橋区立桜川中学校
澤 亜侑実	4組	開発工学部感性デザイン学科	品川区立伊藤中学校
浅倉 咲	9組	東海大学短期大学部(静岡校舎)児童教育学科	川崎市立宮前平中学校
山谷 美波	7組	ハワイ東海インターナショナルカレッジ教養学科	足立区立蒲原中学校

東海大学特別推薦制度

平林 亜衣	5組	体育学部競技スポーツ学科	大田区立大森第一中学校
-------	----	--------------	-------------



櫻井 友紀

政治経済学部経営学科進学内定

3年4組 中野区立第五中学校出身

今回、3年間の勉強に対する努力が認められ、東海大学への特別奨励の内定をいただくことができました。自分がやりきったという達成感もありましたが、高輪台高校に行くことを許可してくれた家族へ恩返しができるという意味で、とても嬉しく感じました。また、部活動との

両立をすることで、同じ気持ちになれる仲間と出会い、最高の思い出を作ることでもできたと思います。

この学校に通うことで、日々の勉強の大切さを学ぶことができました。事前に取り組むことは、その時辛くても報われる日が必ずくる。やりたいことがあるならその目標に向かって努力し、目標が定まっていなくても見つかったときのために準備をする。その手法が勉強であり、学ぶ理由だと私は思います。この経験を生かし、大学でも真剣に取り組むことはもちろん、残りの試験や部活に対しても手を抜かずに、高校生活を過ごしていきたいと思っています。

学園オリンピック一次通過者発表

さらに頂上を目指してがんばれ!!

今年度は東海大学学園オリンピックに全国の付属中学校・高等学校からのべ3,723余名の応募がありました。高輪台高校・中等部からは各部門に88名が応募しました。

一次審査の結果が発表され、下記の生徒諸君がめでたく二次審査に進むことになりました。一次審査の合格者は夏休みに孺恋高原研修センターにおいて、部門ごとに東海大学の先生方の指導を受け、創作活動やフィールドワークに励み、その成果によって各部門の優秀賞受賞者が決定します。



国語部門
橋本 樹 (2年2組)
召古藍子 (2年2組)
芥川未来 (3年1組)

久保田亮 (3年9組)
久能麻依 (3年10組)

数学部門
里村ペロニカ (1年9組)
藤岡 元 (2年9組)
山田実俊 (2年11組)
峯崎太一 (3年9組)

理科部門
大宮祥徳 (2年8組)
出口早美 (3年10組)
山本悠太 (3年10組)
長瀬慶太郎 (1年B組)

英語部門
高橋瑛大 (2年8組)
加王えみか (3年3組)
山口純輝 (3年9組)
高浜佳彦 (3年10組)

芸術(造形)部門
澤亜侑実 (3年4組)
伊藤匡平 (3年8組)

知的財産部門
戸張翔太 (1年6組)
澤亜侑実 (3年4組)
高橋勝真 (3年4組)

デパート部門
田牧陽一 (2年1組)
大久保翔太 (3年7組)
土城佑太 (3年9組)
西村龍之介 (3年9組)

2007年度学校運営方針②

高校現代文明論の実践と定着・浸透を図る。

高校現代文明論は、自らに「人生如何に生きるべきか」と問いかけ、意義ある人生を送るため、多様なものの見方の中から、正しいものの見方・考え方を確立し、人道主義・人格主義に基づいた思想を培うことを目的とした教科です。

今年度本校では、高校現代文明論の「枠組み」にしたがい、第1学年において、1単位、学級担任が受け持つ他、副校長が前後期それぞれ1回、各クラスを巡回し授業を行います。また、学級担任の受け持つ授業は、約4時間を一つの固まりとしたユニット授業を展開します。

それぞれのユニットで、

- 第1ユニット 「建学の理念」**
 創立者の生き方を通して現代文明論の成り立ちを理解する。
- 第2ユニット 「経済活動におけるモラル」**
 経済活動におけるモラルとしての知的財産権の重要性を理解する。
- 第3ユニット 「グループテーマの決定、プレゼン・リサーチのスキル習得」**
 「科学技術とモラル…科学倫理」について理解し、グループ活動のための準備を行う。
- 第4ユニット 「グループ発表」**
 リサーチの結果をグループ発表することにより、テーマについての理解を深め共有する。
- 第5ユニット 「ディベートスキル」**
 ディベートスキルを身に付ける。
- 第6ユニット 「グループ対抗ディベート」**
 グループ対抗ディベートを通してテーマについての理解を深める。
- 第7ユニット 「年間テーマのまとめ」**
 これまでの成果をまとめ、レポートを作成する。

以上の学習を進めることにより、現代文明の諸問題を個別的・網羅的に学ぶのではなく、建学の精神を具現化するため、すべての教科目に共通の「主体的な学び」のモデルとなる問題発見・解決型の学習姿勢・方法を身に付けることを目標とします。

学年の様子

中等部 1学年

中学生活も約2カ月が経ち、どの生徒も通学や校舎、人間関係に慣れてきたようで日々活発に過ごしています。また、クラスの雰囲気もA・B組共にそれぞれの色を持ち始めました。

そのような中、学年が始まり3度目の校外行事として江戸東京博物館とその周辺へ行ってきました。当日の天候は午前が雨、しかし午後には暑いほどの快晴でした。これは雨が降ろうとも熱心にフィールドワークを続けた生徒たちの意欲や知的好奇心に天気の様相が感心したからだと思います。

今年一年間の学びのテーマ「江戸」を通して「様々な視点から一つの物事を捉える事ができる力」と「疑問点を自ら調



高校1年生体育移動教室

べていく力」の習得を望んでいる私たちにとって、生徒たちの活動姿はとても頼もしいものでした。今後も学校行事を通してさらに成長してくれることを期待しています。

高校 1学年

5月19日の校外活動で、湘南校舎を見学に行きました。時間通りに集合し、全員バスに乗り込み出発！バスの中では、話をしたり歌を歌ったり大声で笑ったりとても楽しそうでした。楽しい一時もすぐに終わり、無事湘南校舎に到着。

生徒達の第一声が「東海大でけー」でした。それもそのはず東京ディズニーランドと同じ大きさなので、次に説明を2号館で受け、学食へ。高校とは違う学食の味に感激していました。みんないつもよりたくさん食べているようでした。そんな驚きの連続を経て班毎に別れてクイズラリー。広

大な敷地を仲良く歩いて散策です。大学生に質問する項目があり、緊張しながら話しかけている姿は印象的でした。松前記念館で「無装荷ケーブル」を見たり、計12箇所のポイントを汗をかきながら歩いていました。大学は土曜日だというのに学生もたくさんいて普通の大学生活を身近に感じ取れたのではないかと思います。本校卒業生も大勢いて、生徒と話をしてくれていました。

生徒達はとても楽しかったと言って、東海大学に進学したいと思った生徒がたくさんいたので良かったです。3年後の自分を見つけれられた1日だったと思います。

高校 2学年

2年生になって1カ月少々経過すると、クラス替えした新クラスもいろいろな意味で落ち着いてくるものです。

新クラスがそれぞれの特徴を出し始めると、学校行事にもそれぞれの色を添えることになります。生徒諸君にとって、一般的に学校行事というのは、「勉強」ではない何か別の楽しいことというイメージが強いようです。5月の学校行事としてすぐに連想されるのは、「スポーツ大会」と「中間試験」でしょう。しかしながら、「中間試験」の話題を取り扱くと、いささか気分が重くなるのでここでは前者の話に移ります。

「スポーツ大会」は、2年生として、事実上、今年度最初の学

校行事であったといっても過言ではありません。5月19日(土)当日は、前々日からの雨の影響で開会式すら危ぶまれていましたが、生徒諸君の熱い思いが天候を変え、ある種理想的とも言えるグラウンドコンディションで、競技を実施することができたことは幸いでありました。

スポーツである以上、「勝利」と「敗北」はついてまわるかもしれませんが、それ以前に、各クラスの男子は女子を、女子は男子を応援するという場面に出会えたことが何よりもの収穫であったと確信しています。

スポーツ大会を通して、クラスの親睦が深まれば、それがいちばんの勝利であるといえます。

高校 3学年

「なぜ小論文試験なのだろう。」6月1日の小論文試験終了後、ある生徒から寄せられた質問です。この試験は東海大学付属推薦試験の一環として設定されているのですが、最先端を自負する東海大学が、取って小論文にこだわる理由は何でしょうか。

5月の連休が明けるやいなや、毎週行われた小論文指導。教室を満たしたものは、緊張と沈黙と、最後に「書けない」の悲鳴。あの時なぜ「書けな」かったのでしょうか。「書けない」状態とはどのようなものなのでしょうか。

小論文はいくつかの事例を通して、自分の見解を述べる文章

です。その根本を支えるのが、「言葉」であることは言うまでもありません。自分の思いに言葉を与え続け、そこから紡ぎだす行為、それが考えるということならば、「書けない」とは「書くべき内容を考えられない」状態であったということが出来ます。

今、晴れて「書ける」ようになって気付いたはずですが。書くことは考えること。よく考えることはよく生きることにつながるということに。むやみに言葉に流されるのではなく、それを自分の人生に引き当てていくこと。それが、考えるという学問の根幹をなす行為なのだということに。緊張と沈黙に包まれたあの時間は、一つのテーマに自己の全存在を懸けて挑んだ、尊い時間だったのです。

2007年度部・同好会加入状況について

本校では教育目標の一つとして、「文武両道」を掲げ、部・同好会活動への積極的な加入を推進しています。現在、29の部（運動系20、文化系9）と3つの同好会が活動を行っておりますが、今年度の加入生徒総数は、男子641名・女子454名の計1095名です。昨年度と比べますと人数では44名の減少ですが、全生徒数に対する加入率では75.8%と、昨年度に比べ5ポイントほど増加しています。

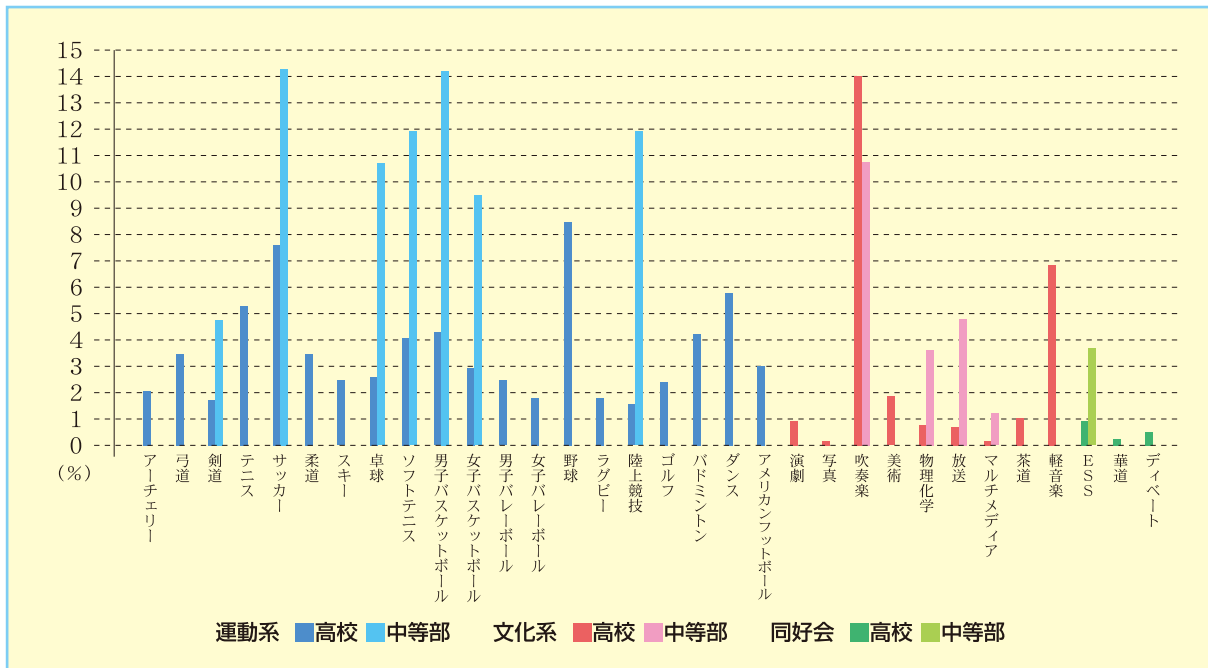
今年度より新設された中等部でも15の部（運動系8・文化系7）と2つの同好会が産声を上げ、目下のところ100%の生徒が部・同好会に加入するという状況です。中・高・大と続く10年間の一貫教育によって、卒業する日まで存分に部・同好会活動に取り組めることが、部・同好会活動に対して高い期待が寄せられる一因となっているのでしょうか。

2004年度からは特に活躍が期待される部を重点強化部

に指定して、バックアップする制度をスタートさせましたが、4年目を迎える今年度は強化部の活動も充実の度を深めています。現在、強化部の指定を受けている6団体の部員数合計は436名（昨年度比16名増）であり、名実ともに周囲の注目を集めているといえるでしょう。必ずや輝かしい成果をもたらしてくれることとしますので、ぜひともご期待ください。

部・同好会活動は社会で生活していくために必要な経験を積むことのできる貴重な場です。本校ではより多くの生徒に安心して打ち込んでもらいたい、そして最後まで活躍してもらいたいとの思いで、各顧問の教員が全力で生徒の活動を支えています。生徒の努力と教員の熱意が「1+1>2」となるような部・同好会活動を目指しておりますので、今後とも温かいご支援を宜しくお願い致します。

各部活動別 加入率(全部員に対する率)



希望を星につないで

ディベート研究同好会 「ディベート甲子園」全国大会 出場決定

8月4日～6日 会場：東洋大学
選手の皆さんの健闘を祈ります！

選手：大久保翔太君(3-7)、佐山喬是君(2-1)、田牧陽一君(2-1)
三並拓馬君(2-1)、岩崎誠仁君(2-5)

関東甲信越予選



SSH活動報告

5月12日、日本科学未来館でタイの高校生と立命館高校の生徒との交流会がありました。前半は、本校の生徒5名(3年3名・2年2名)がパワーポイントを用いて、英語でのプレゼンテーションに挑戦しました。後半は、日本科学未来館の展示物の前で、タイと立命館の生徒による英語のプレゼンテーションを聞き、交流を深めました。短い時間ではありましたが、生徒たちは英語を使い交流したことで、よい経験になったようです。

SSH活動を通して—英語教員の視点から

高橋 昇

英語 高校第2学年主任

過日5月12日(土)、日本科学未来館に於いて、『立命館高校タイ留学生との交流会』という名のもとに、本校SSHクラス在籍の3年生3名と2年生2名による英語プレゼンテーションが執り行われました。今回、英語科教員としてSSH活動に参加して、あらためて新鮮な驚きを覚えました。

私自身はもちろんのこと、本校の生徒諸君5名もあればどの人たちが会場が埋め尽くされるとは予想だにしませんでした。あの集団相手では日本語によるプレゼンテーションでさえ緊張してしまうものですが、それを敢えて英語でプレゼンテーションするところに意義があったと確信しています。

なるほど、タイの高校生たちの英語運用力には脱帽しましたが、本校生徒の発表ぶりも堂に入っていました。まさに「英語は度胸」といわんばかりでした。一番大切なことは、これを機に、理数科目と英語学習の両方になお一層興味を抱いてほしいということです。

今回、生徒たちへの事前指導を通して、自分自身、SSH活動が何たるかの一端を覗き見るのができたことが最大の収穫でした。



大勢の人の前で英語で発表

交流会で実感したこと

土佐林 大樹

3年10組 横浜市立神奈川中学校出身

僕は、12月に短大で行った「レゴロボットの實習」について発表しました。この實習では、レゴロボットを組み立てて、プログラミングした内容をレゴロボットに読み込ませ、走らせることで、さまざまな実験を行いました。この交流会の発表は全てが英語で行われたので、資料を英語で作り、英語での発表の練習もしたので、準備には大変苦労しました。

当日は聴衆が100人を越えるほどでしたが、あまり緊張せずに練習どおり発表を行うことができました。しかしタイ人と立命館の生徒の発表を聞いて、自分の発表の力がまだまだだと実感しました。僕は多少のジェスチャーを使うことはできたけれど、ただ原稿を読むだけというような発表でした。しかし彼らはジェスチャーを上手く使って、相手をよく見て、聞いている人に何とか伝えようとしているように感じました。今回の交流会で学んだことを今後活かして、よりよい発表が出来るようにしたいと思います。



英語を聞き取るのは難しい

英語の大切さと難しさ

中野 詩織

2年11組 足立区立第五中学校出身

私はパワーポイントを使い「MY SPECIAL SCIENCE TOUR IN 2006」というタイトルで、昨年の夏休み中にクラスで行った科学体験学習旅行について、すべて英語で発表しました。発表の準備で一番大変で難しかったのは、英語に訳すことと、英語で話すことよっての強調表現や間のあけ方です。まったく初めてのことで、発表するにあたって、ご協力いただいた先生方にはとても感謝しています。大勢の人の前で、全て英語で発表するのは初めての体験でしたが、このようなことを体験できるのはなかなかないことです。実際に発表してみて、改善する点が多く見つかりました。また、この交流会では他校の素晴らしい発表が聞けました。同じ高校生とは思えないような発表も数多くあり、良い刺激を受けました。この経験を今後活かして成長し、また機会があればぜひ参加したいです。



英語で交流を深めました

〈高校〉

〈中等部〉

小論文コンテスト・作文コンテスト

6月1日、東海大学付属推薦小論文試験(3年生)・小論文コンテスト(1・2年生)・作文コンテスト(中等部)が行われました。3年生にとっては東海大学推薦入試における書類審査の一つであり、1・2年生にとってはその予行練習とも言うべきものでした。今回の小論文テーマは「物を大切にする」です。

テーマに沿って構成を組み立て、一定時間内に一定の字数を書くということは、容易なことではありません。しかし、ほとんどの生徒がこれをク

リアしており、その上、内容的にも優れた小論文が多くありました。これは現3年生が1・2年次に行われた小論文コンテストに真摯に取り組み、小論文を書くトレーニングを積み重ねてきた結果だと考えられます。

1・2年生の皆さんは、来年、再来年の東海大学付属小論文試験に向けて、今から小論文の書き方をしっかり身につけておきましょう。中等部は「友だちの大切さ」というテーマで作文コンテストに挑戦しました。

高校2年

グランプリ

2組 末續彩夏

準グランプリ

11組 直井雄介

高校1年

グランプリ

3組 小倉愛香

準グランプリ

1組 岡田 綾

中等部1年

グランプリ

A組 松尾 鮎

準グランプリ

B組 伊藤 駿

小論文コンテストグランプリ



末續 彩夏
2年2組 板橋区立西台中学校出身

今、地球は破壊されかけている。原因は地球温暖化や核問題など様々だが、どれもこれも人間の身勝手な行動の積み重ねの結果だ。

地球をこれ以上傷つけないためには、やはり私達一人一人が何らかの行動を起こしていかなければならない。

例えば具体的にどんな行動を起こせばよいのか。最も身近なものの一つはリサイクルだ。ペットボトルをリサイクルすればYシャツに、古紙をリサイクルすればトイレトーパーになる。これは業者が再利用するのだが、私達自身でも十

分にできることがある。米のとぎ汁で床を拭いたり、お菓子の空き箱を子供のおもちゃ入れにしたりと、挙げてみればきりが無い。どんな小さなことでも「実行してみよう」と一歩を踏み出すことに大きな意味があるのだ。

どんなに「地球が心配だ」などと口で言っても、何も変わらない。まず、始めることが大切なのだ。これは何も環境のため、地球のためだけではない。何かを思いやる気持ち、何かを大切にしている気持ち、そういったものが一つの行動を起こすことによって、環境も人の心も美しくなっていく。そして社会全体がやさしくなる。安倍首相の目指す「美しい日本」が、そのようなものであってほしいと、私は考える。外見だけの美しさでは、環境だけではなく人の心もいつか汚れ濁ってしまうだろう。

中等部のコーナー

中部部に入って初めての定期試験、スポーツ大会を終え、5月30日、校外活動に出かけました。午前中降っていた雨も生徒たちの元気に吹き飛ばされたのか、午後は晴天となりました。午前中、江戸東京博物館にて江戸から現代までの移り変わりを学習、北斎通りでのウォークラリー、旧安田庭園散策…と盛り沢山の内容でした。昼食後、復興記念館を見学し関東大震災による悲痛な事実を真剣に受け止めていました。よく歩きよく学び、充実した一日となりました。

歴史の重みがわかった校外活動

遠藤 由真

1年A組 昭和学院小学校出身

博物館の中がとてとても大きくてまよってしまうほどでした。歴史で習った江戸時代。私が思っていたより江戸時代の資料がたくさんあり、実際に当時の自転車に乗れたり、電話を使ってみたりとすごく楽しかったです。その他にも、明治時代・昭和時代の資料がありました。私が特に印象に残っていたのは戦争の時の写真があったこと、私たちの班に話をしてくれた方が戦争体験者だったことです。私は戦争という言葉聞く度に悲しくなってきました。現在、日本は戦争をしていないけど、過去に戦争があったことが悲しいです。私は、江戸東京博物館に行って、江戸・明治・昭和時代の歴史の重みがあることがわかりました。

校外授業に行って

石坂 研人

1年B組 練馬区立練馬第三小学校出身

ぼくが校外授業で一番心に残ったのは江戸東京博物館で昭和から大正時代くらいの家を再現したコーナーに入ったことです。まず台所にはバケツくらいの大きさの四角い小さな冷蔵庫がありました。ぼくはこんなに小さくてよく大じょうぶだったなあと思いました。そして床には、床下しゅうのうがあり、これは便利だなあと思いました。昔のダルマ自転車という前のタイヤがとてとても大きくて後ろのタイヤがとてとても小さい自転車の実物に乗りました。こんなに座る場所が高い自転車に、よく昔の人は乗れたなあと感心しました。

再現した家や実物がたくさんあり、またそれを実際に体験できたので、とてとても楽しかったです。



江戸時代の人は工夫してるなあ



北斎の名画について、ウォークラリー中



突然の雨でも、気分は晴れ晴れ!



よく歩いたから、ごはんがおいしい!

お知らせ



行事予定

July 7月

September 9月

- 2日(月) 朝礼
- 4日(水) 専門医によるカウンセリング
- 5日(木) 東海大学進学説明会(高2、1限目)、校医相談日
- 8日(日) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 12日(木) 生徒による授業評価アンケート
- 13日(金) 剛健旅行開会式(7限目)
- 14日(土) 受験生・保護者学校説明見学会(高校、10:00)、水泳実習(中1)
- 16日(月) 海の日
- 17日(火) 第39回剛健旅行(~18日)
- 19日(木) 剛健旅行閉会式、大掃除
- 20日(金) 夏季休暇(~8月31日)、希望者講習(~27日)
- 31日(火) 学園オリンピック(文化部門)(夏季セミナー、~8月5日)

- 1日(土) 後援会委員総会
- 3日(月) 避難訓練、朝礼後短縮授業
- 4日(火) 学園基礎学力総合試験(高3) 外部実力試験(高1、高2、中1)
- 6日(木) 中学校巡回 生徒自宅学習日(高校)、水泳実習(中1)
- 12日(水) 専門医によるカウンセリング
- 13日(木) 校医相談日
- 14日(金) 期末試験(高校、~20日)
- 17日(月) 敬老の日
- 18日(月) 期末試験(中等部、~20日)
- 21日(金) 採点日、生徒休業日(高校) 写生大会(中1)
- 23日(日) 秋分の日
- 24日(月) 振替休日
- 25日(火) 体育祭(雨天時振替休日)
- 26日(水) 答案返却
- 28日(金) 成績不振者指導
- 29日(土) 保護者会(全学年)

August 8月

- 6日(月) 学園オリンピック(スポーツ大会)(湘南校舎、~8日)、生徒会運営懇談会(~8日)
- 13日(月) 学園教職員一斉休暇(~17日)
- 21日(火) 希望者講習(高校、~30日)
- 25日(土) 東海カルチャーセミナー
- 27日(月) サマーセミナー(中等部、~30日)

中等部スポーツ大会の様子



編集後記

剛健旅行で生徒が歩く距離は、高校男子がフルマラソンとほぼ同じ約41Km、女子が24Km、中等部が13Km。地図を開くと、高輪台高校から41Km圏には東西南北の順で、千葉・八王子・横須賀・さいたま、24Km圏には船橋・府中・横浜・浦和、13Km圏には浦安・荻窪・川崎・王子まで入る。東京直下型地震では390万人の帰宅困難者が予想されているが、本校の生徒ならいざとなれば歩いて帰れるはずだ。とはいうものの、学校にいるのが一番安全ではあるが…。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部
TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ : <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>